

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1215号	氏名	吉村真紀
論文審査担当者		主査教授	谷山 紘太郎
		副査教授	河野 茂
		副査教授	丹羽 正美
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 セレギリンは、モノアミン酸化酵素(MAO)抑制薬で、中枢神経疾患治療薬や脳保護薬として用いられている。セレギリン服用者が麻酔を受ける機会も増加していることから、本薬物の気道平滑筋に対する作用およびその機序を検討し、本薬物の麻酔リスクへの影響について明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ラットの摘出気管標本を用いて、セレギリンの機械反応、イノシトールリン脂質反応に対する作用について解析したもので、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 セレギリンは気道拡張作用を有し、その作用が、気道平滑筋のムスカリン受容体レベルおよび受容体を介した反応や電位依存性Ca²⁺チャネルなどを抑制することにより、発現することを示唆したもので、セレギリンは麻酔の際の副作用惹起には関わらないことを明らかにしたものである。</p>			
<p>以上のように本論文は、臨床に用いられている薬物と麻酔のリスクとの関連についての検定法の開発に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。